

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第188号

令和3年11月3日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

科学講座が再開されました！

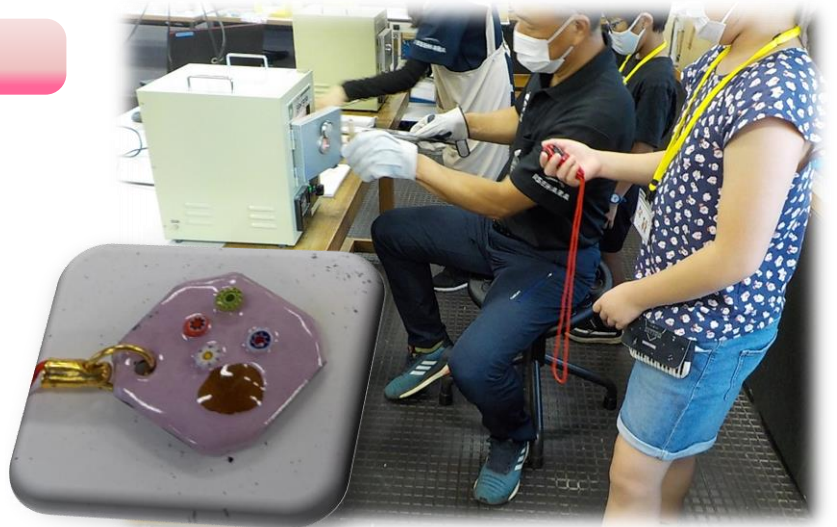
すっかりと季節も秋らしくなってきました。緊急事態宣言が長引き、8月から9月までの2か月間、感染症拡大防止の観点から講座を中止してきましたが、緊急事態宣言が解除され、青少年センターでも講座を再開しました。期待に胸を膨らませ、科学体験の場を通して多くの方々に見て、触って、感じてもらいたいです。

今回の協議会ニュースでは協議会主催事業および青少年センター共催事業について御紹介いたします。

子ども科学探検隊

10月2日（土）に伊勢原市立子ども科学館にて子ども科学探検隊が行われました。前半は工作として七宝焼き体験を行い、参加者はそれぞれ下地の釉薬や飾りのパーツを自分で選び、デザインしたあと、専用の窯で焼きあげて制作していました。

後半はプラネтариウムの見学を行い、星空の解説を聞くことができました。少人数でしたが、皆さん楽しく1日、学べたようです。



10月2日（土）伊勢原市立子ども科学館協 参加者：4名

日本学生科学賞神奈川県作品展

令和3年10月6日（水）～12日（火）に日本学生科学賞神奈川県作品展（主催：神奈川県科学教育振興委員会、神奈川県立青少年センター、読売新聞社横浜支局）が県立青少年センター（横浜・紅葉ヶ丘）の多目的プラザにて開催されました。中学生・高校生による科学作品を分野ごと（物理、化学、生物、地学・環境、高校）にまとめ、日頃の研究成果を披露（展示）しました。

感染症拡大防止のため、出展関係者のみの公開となり、一般公開は中止となりましたが、昨年度よりも多い149点の作品が出展され、来場した方々からその作品の完成度の高さに驚きの声があがっていました。特別賞となった作品については全国大会へ出展されるとのことです。



ロボットプログラムスペシャル講座

10月17日(日)に県立青少年センター科学部(本厚木)にて神奈川工科大学主催、県立青少年センター科学部科学支援課共催で「ロボットプログラムスペシャル講座」を開催しました。神奈川工科大学創造工学部ホームエレクトロニクス開発学科の金井徳兼教授を講師に LEGO 社のマインドストーム EV3を使用し、小学1～3年生の部と小学4年～高校3年生の部に各10名の参加がありました。小学1～3年生の部ではプログラミングの基礎を行い、小学4年～高校3年生の部ではロボットを使った家電の仕組みについてプログラミングを通して学びました。

参加者の皆さんは普段体験できないような専門的な知識を楽しみながら学習でき、大変満足だったようです。



10月17日(日)神奈川工科大学[☒] 参加者:小学1～3年生10名、小学4年～高校3年生10名

科学相談・協議会名義使用・後援

事務局では以下の取り扱いをしております。電話・メール等にて担当者(秋田谷・上田)まで御連絡ください。

- * 協議会間および一般向けの情報共有や情報発信、協議会ニュースへの掲載依頼、募集依頼
- * 協議会后援・共催・名義使用等について(承認審査、事業報告書の提出等があります)
- * チラシやパンフレット、講座情報の配架の御希望
- * 科学相談(科学工作、天文、写真使用等)や各種講座への出展依頼
- * その他

事務局から

科学部裏手にあるビルが取り壊され、今は視界がすごく開けた状態になっています。来年には新しいマンションが建つとのことですが、これまで見えなかった公園や建物などが見えており、少し新鮮な景色を見ながら過ごしています。(事務局長:樋口 事務局員:山田、秋田谷、上田)

